

**平成27年度
自己評価報告書の概要**

平成28年6月24日

呉竹医療専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1
基準 1 教育理念・目的・育成人材像	2
基準 2 学校運営.....	2
基準 3 教育活動.....	3
基準 4 学修成果.....	3
基準 5 学生支援.....	4
基準 6 教育環境.....	4
基準 7 学生の募集と受入れ	5
基準 8 財務	5
基準 9 法令等の遵守.....	6
基準 10 社会貢献・地域貢献.....	6

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成28年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>【教育理念】 医の東西を問わず豊かな知識と技術を備え、全人的医療を施すことのできる医療人を育成すること。</p> <p>【教育目標】 全人的医療を施すことができる医療人を育成するために、卒前・卒後を一貫した教育体系として捉え、教育施設並びに附設する医療施設を有機的に活用しながら、東西医療への理解を深めると同時に医療実践能力を修得する完結的教育を施していく。また、知識・技術の修得と併せて人格形成の教育にも力を注いでいくことを本校の教育目標とする。</p>	<p>教職員が一丸となって課題解決に取り組みながら、理念等の達成を目指す体制を強化するため、次の3点を本年度の重点目標として掲げる。</p> <p>【重点目標1】 事業計画書、予算書及び事業報告書の記載内容の具体化を図ることにより、各事業の目的を確実に共有する体制を整えること。</p> <p>【重点目標2】 各事業の運営方法について規則等を設け、教職員の意識や実施方法を統一する。</p> <p>【重点目標3】 各事業の評価を行い、次年度の計画に反映させるため、定められた方法による記録と保管を徹底して行う。</p>	<p>【達成計画・取組1】 平成28年度事業計画書に沿って事業報告書を5月初旬までに作成し、理事会に報告する。平成29年度の事業計画書及び予算書については、事業の位置付けや目的を明示するとともに、事業計画と予算を関連させて詳しく示し、3月の理事会で承認を受ける。</p> <p>【達成計画・取組2】 次の内容について、期日までに規則等を設ける。 ① 授業評価に関する規則（8月より試行） ② 安全管理体制の見直しと実施要綱（8月より試行） ③ 教職員に対する理念・運営方針の浸透度の確認について（10月より試行） ④ 学生指導及び学習・就職支援等に関する規則（10月より試行） ⑤ 卒業生や受入先への調査に関する規則（12月より試行） ⑥ 人事・給与及び採用・昇任に関する規程の設置及び見直し（3月理事会提出）</p> <p>【達成計画・取組3】 次の内容の記録保持を徹底するとともに事業評価を行って、平成29年度事業計画に活用する。 ① 教職員の会議・委員会の議事録 ② 学生指導記録及び保護者等との相談記録 ③ 同好会活動計画及び報告書</p>

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括

理念等に沿った目的・育成人材像等を定めて、鍼灸マッサージ科 I 部、鍼灸科 I 部・II 部、柔道整復科 I 部・II 部の 5 学科を設置している。これらの情報は学校案内やホームページで公開している。理念等の実現のために、教育目標等を定めており、自己評価委員会等を設置して、理念等を見直せる体制も整備している。関連業界が求める知識・技術等については、育成人材像や教育方針において示しており、教育課程や授業計画等の策定においては、教育課程編成委員会等を通じて、関連業界等からの協力を得ている。

理念等の実現に向け、中期的目標や事業計画を策定しているが、予算との関連が示されていない。教職員等への理念等の浸透度については確認していない。副教材を独自に開発する取組は行ったが、関連業界等との教材開発の記録はない。これらの課題については、教職員に周知を図るとともに、規程等を定めて事業計画に掲載して着実に解決に向けた取組を行うこととした。

基準 2 学校運営

大項目総括

運営方針は、理念等に沿って定められている。事業計画は、平成 28 年度から網羅的に示されており、理念等の達成に向けた内容となっている。設置法人は、理事会・評議委員会を定期的開催し、校長会、各校教務会を通じて、決定事項を教職員に周知している。採用・人事考課等については適宜実施している。学生情報管理システムを導入し、出席不良者への指導等、業務の効率化を図っている。

運営方針の浸透度の確認、中期目標と予算の関連付け、内部統制強化のための業務フローの見直し、人事・給与・採用・昇任・人事考課等の諸規程を平成 28 年度中に見直し・整備することを課題とした。

基準 3 教育活動

大項目総括

教育課程の編成方針は、理念等に沿って定められており、教育課程編成委員会を開催して、外部の意見を反映しながら、教育課程を編成している。また、授業評価を実施して授業の質の向上に取り組んでいる。成績評価基準は公表され周知を図っている。学生の発表などの成果は学校で把握している。取得資格については、教育課程上明確に定められており、免許取得の指導体制の他、不合格者に対する支援体制も整っている。教員の資質向上に向け、研究・研修の支援を行っている。

教員の確保は円滑に行われているが、教職員の年齢構成や男女比等の情報公開と、教職員の採用に関する諸規程の整備を課題とした。

基準 4 学修成果

大項目総括

希望者の就職率 100%（4月1日）を目標にして、就職セミナー、相談会等を関係業界等の協力を得ながら開催している。国家資格取得率については、100%を目指しており、例年全国平均を上回っている。

学生の質の変化に伴う指導方法の見直しや、卒業生の社会的評価の把握方法等を課題として、次年度に向けた取組を行うこととした。

基準5 学生支援

大項目総括

就職等進路支援のため事務に担当者を設置し、担当教員と連携しながら、進路調査やイベントを開催している。中途退学者の傾向の把握や教職員間の連携により、退学者は減少する傾向が見られた。学生の健康管理や学生寮の設置、課外活動に対する支援を行うとともに、保護者会を通じて連携を呼びかけ、出席・成績不良者の対応を行っている。

学生指導や相談を実施するための規程を定めることや卒業生や就職先への調査、産学連携による卒業生の再教育プログラムの取組を課題としている。

基準6 教育環境

大項目総括

施設・設備・機器類等は設置基準や耐震基準を満たし法令に適合している。図書室、実習室等学習支援に必要な施設のほか、学生の休憩スペースも完備して、衛生管理も行われている。関連業団の協力を得ながらインターンシップを開始し、成績評価も行っている。スポーツ大会を始め各種行事を開催し、実行委員会を設置して学生に主体的に参加させている。卒業生に対しても施設の利用を認める他、臨床施設では研修生の受入を行っている。

インターンシップの実施方法や受入先企業等との連絡協議体制の構築、安全管理体制に関する規程等の見直しを今後の課題としている。

基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括

学生募集については、高等学校への情報提供や見学受入を積極的に行っている。また、募集要項やホームページに学校情報を公開し周知を図っている。入学選考は規程に基づいて委員会を開催して公平な判定を行っている。入学選考結果について把握し、基礎分野の授業内容を一部変更するなど対応している。学納金については、近県の水準を把握して設置しており、全て募集要項やホームページで公開している。入学辞退の申し出や学費等の返戻についても適切に行っている。

基準 8 財務

大項目総括

法人の財務基盤は、学納金比率が高いことから募集状況の影響を受けやすい財務体質となっているが、翌年度繰越収入超過額はプラスとなっており、自己資金比率が高く、負債比率が低いことなど、安定した状況となっている。教育研究費等の比率も適切と考えている。収支・予算計画は法人事務局で一括編成し、理事会において決定している。執行管理は中間期に行き、期末に向けた執行管理を行っている。会計監査は適宜行われ、理事会において報告されている。財務情報については、規程に基づいて公開されており、貸借対照表、消費収支計算書及び資金収支計算書はホームページに掲載されている。中期目標や単年度事業計画に関連付けした予算書が作成されていないため、来年度から作成することとしている。

基準 9 法令等の遵守

大項目総括

関連法令や設置基準に基づいて、学校運営上必要となる規程や学則を整備している。学校が保有する個人情報については、規程を整備して適切に管理している。

自己評価及び学校関係者評価委員会報告書については、ホームページに掲載して周知している。課題への取組は、各科毎の管理体制であったのを改めて、自己評価委員会を設置して課題を共有して取り組む体制を整えた。

学校関係者評価委員会は 2 回実施してきたが、改善項目が多く課題への取組が疎かになりやすい状況であったことを改めて、平成 28 年度からは重点課題を 3 つに絞り込んで取り組むこととした。

教育情報に関してはガイドラインに沿って積極的に公開している。

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括

学校の教育資源を活用し、関係する業団や企業等に施設の貸出を行った。教育プログラムの開発等については、学校協会に委員を派遣し教科書の作成に携わった。高等学校の職業体験授業等は 6 件実施した。

環境問題に対する活動、国際交流、留学生の受入、ボランティア活動等に関する取り決めや規程がないため、今後、設置していくことを課題とした。